

マルア放送局

	機 材 名	数 量	主仕様・用途
1.	スタンド付マイクロフォン	5 式	
(1)	ダイナミックマイクロフォン	5 台	単一指向性、ハンドタイプ
(2)	マイクスタンド	5 台	スプリングアーム型
(3)	カフボックス	5 台	
(4)	カフボックス接続ケーブル	5 本	5m
(5)	イヤフォン	5 台	
2.	マイクロフォン	3 式	
(1)	ダイナミックマイクロフォン	3 台	単一指向性、ハンドタイプ
(2)	マイクスタンド	3 台	ブームスタンド型
3.	音声ミキサー	1 式	
(1)	デジタル音声ミキサー	1 台	32CH 入力
(2)	非常用電源ユニット	1 台	
(3)	卓台	1 台	
4.	CD 再生機	2 台	
5.	CD 録音・再生機	1 台	
6.	グラフィックイコライザー	1 台	1/3 オクターブ、2CH
7.	デジタル効果装置	1 式	
(1)	マルチエフェクター	1 台	
(2)	メモリー録音機	1 台	
8.	モニタースピーカー装置	1 式	
(1)	調整室モニタースピーカー	2 台	
(2)	スピーカースタンド（調整室用）	2 台	
(3)	パワーアンプ（調整室用）	1 台	200W（8 ） 2CH
(4)	スタジオモニタースピーカー	2 台	
(5)	取付金具（スタジオモニタースピーカー用）	2 台	
(6)	パワーアンプ（スタジオ用）	1 台	200W（8 ） 2CH
(7)	バックトークスピーカー	1 台	パワーアンプ内臓
(8)	モニターセレクター	1 台	
(9)	モニタースピーカー（セレクター用）	1 台	
9.	ヘッドフォン	9 台	

	機 材 名	数量	主仕様・用途
10.	音声分配アンプ	2 台	
11.	MD録音・再生機	2 台	
12.	カセットテープデッキ	2 台	
(1)	カセットテープデッキ	2 台	
(2)	バランスアンプキット	2 台	
13.	電話放送装置	2 台	1 回線用
14.	ラジオオートメーション装置	1 式	
(1)	調整室用録音・編集機	1 式	OS Windows、ハードディスク、サウンドカード内臓、キーボード付
(2)	編集室用録音・編集機	1 式	OS Windows、ハードディスク、サウンドカード内臓、キーボード付
(3)	液晶モニター	3 台	
(4)	4ポートハブ	1 台	
(5)	音声ミキサー	1 台	8CH アナログ式
(6)	モニタースピーカー	2 台	パワーアンプ内臓
(7)	マイクロフォン	1 台	単一指向性、ハンドタイプ
(8)	マイクロフォンスタンド	1 台	卓上型
(9)	マイクロフォンケーブル	1 本	3m
15.	機器収納ラック(19インチ型)	1 式	
(1)	機器収納ラック・メインフレーム	1 台	
(2)	ジャック盤	2 台	
(3)	入・出力コネクター盤	1 式	
(4)	電源盤	1 台	
16.	ダイナミックプロセッサー (リミッター・コンプレッサー)	1 台	2CH
17.	スタジオアナウンステーブル	1 台	
18.	オンエアーランプ表示装置	1 式	
(1)	オンエアーランプ	2 台	
(2)	オンエアーランプ制御ユニット	1 台	
(3)	カフボックス状態表示器	1 台	
(4)	カフボックス制御ユニット	1 台	

	機 材 名	数量	主仕様・用途
19.	CDM ラック	1 式	
(1)	CDM ラック・メインフレーム	2 台	
(2)	プログラム入力セクター	1 台	
(3)	モニターユニット	1 台	
(4)	MD 入力セクター	1 台	
(5)	MD 録音・再生機	1 台	
(6)	CD 再生機	1 台	
(7)	音声分配アンプ	6 台	
(8)	VUメーターユニット	1 台	
(9)	出力トランスユニット	4 台	
20.	AVR (自動電圧調整器)	1 台	5kVA
21.	予備品	1 式	
(1)	VU メータ	1 式	
(2)	ユニット保守用延長基板	1 式	
(3)	オーディオミキサー用スライドフェーダー	5 式	
(4)	特注機材用電源ユニット	1 式	
(5)	特注機材用スイッチ	1 式	
(6)	特注機材用リレー	1 式	
(7)	機器用冷却ファン	1 式	
(8)	VU メータ用ランプ、LED	1 式	
(9)	ガラス管型ヒューズ	1 式	
22.	工事材料	1 式	
(1)	配線ケーブル類	1 式	
(2)	コネクター類	1 式	
(3)	固定材類	1 式	

## カメルーン側負担事項

項目	確認事項	回答内容															
1	送信周波数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>局名</th> <th>全国放送</th> <th>地方放送</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヤウンデ</td> <td>88.8MHz</td> <td>101.9MHz</td> </tr> <tr> <td>エボロワ</td> <td>94.3MHz</td> <td>97.6MHz</td> </tr> <tr> <td>ンガウンデレ</td> <td>92.5MHz</td> <td>102.5MHz</td> </tr> <tr> <td>マルア</td> <td>98.1MHz</td> <td>94.8MHz</td> </tr> </tbody> </table>	局名	全国放送	地方放送	ヤウンデ	88.8MHz	101.9MHz	エボロワ	94.3MHz	97.6MHz	ンガウンデレ	92.5MHz	102.5MHz	マルア	98.1MHz	94.8MHz
局名	全国放送	地方放送															
ヤウンデ	88.8MHz	101.9MHz															
エボロワ	94.3MHz	97.6MHz															
ンガウンデレ	92.5MHz	102.5MHz															
マルア	98.1MHz	94.8MHz															
2	エボロワ送信所番組中継回線	2006年12月末までに修理を完了する。なお、プロジェクトの開始までに回線が修復できぬ場合、CRTVの予備回線1対向をエボロワの中継回線として使用する。															
3	ヤウンデ送信所番組中継回線	<p>現在4チャンネルの番組中継回線が以下のとおり稼動している。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>全国放送(モノラル用)</td> <td>1チャンネル使用</td> </tr> <tr> <td>地方放送(モノラル用)</td> <td>1チャンネル使用</td> </tr> <tr> <td>コマーシャル(ステレオ用)</td> <td>2チャンネル使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>全国放送及び地方放送をステレオ化するため、2チャンネルを追加する。</p> <p>予算は2006年12月に審議される。</p> <p>予算が承認されれば2007年1月に発注し、納品は2007年3月になる。なお、プロジェクト開始までに回線が取得できない場合は、CRTVの予備回線1対向をヤウンデのスタジオと送信所間の中継回線として使用する。</p>	全国放送(モノラル用)	1チャンネル使用	地方放送(モノラル用)	1チャンネル使用	コマーシャル(ステレオ用)	2チャンネル使用									
全国放送(モノラル用)	1チャンネル使用																
地方放送(モノラル用)	1チャンネル使用																
コマーシャル(ステレオ用)	2チャンネル使用																
4	地方番組用中継回線周波数の確定	ンガウンデレおよびマルア用の番組回線として使用する周波数を2007年1月末までに文書で確認する。															
5	据付工事中の対応	<p>CRTVは本プロジェクトの送信所工事にかかり、本放送中断期間に送信機を仮設し仮放送を実施する。</p> <p>放送機材は発注済で2007年3月に入手する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>購入機材はItelco製2.5kW×2が2式である。</li> <li>仮放送は工事開始の1ヶ月前から実施する。</li> </ol>															
6	送信所改修工事及び機材撤去工事	<p>基本設計概要書3章(2)1)～4)に示す、各送信所改修工事は以下の期限までに完工する。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>マルア</td> <td>2008年6月中旬</td> </tr> <tr> <td>ンガウンデレ</td> <td>2008年7月中旬</td> </tr> <tr> <td>ヤウンデ</td> <td>2008年8月中旬</td> </tr> <tr> <td>エボロワ</td> <td>2008年9月末</td> </tr> </tbody> </table> <p>予算は2007年12月に審査される。</p>	マルア	2008年6月中旬	ンガウンデレ	2008年7月中旬	ヤウンデ	2008年8月中旬	エボロワ	2008年9月末							
マルア	2008年6月中旬																
ンガウンデレ	2008年7月中旬																
ヤウンデ	2008年8月中旬																
エボロワ	2008年9月末																
7	発電機の修理	<p>各局の発電機運用状況は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>局名</th> <th>配備・運用状況(*:要修理)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>マルア</td> <td>170KVA, *100KVA, *60KVA</td> </tr> <tr> <td>ンガウンデレ</td> <td>*170KVA, 100KVA</td> </tr> <tr> <td>ヤウンデ</td> <td>170KVA, *100KVA</td> </tr> <tr> <td>エボロワ</td> <td>*170KVA, 100KVA</td> </tr> </tbody> </table> <p>基本設計概要書3章(2)1)～4)に示す修理については、各サイトにメカニックを派遣して調査を実施しており2008年1月までにすべての修理が完了する。</p> <p>予算は2006年12月に審議される。</p>	局名	配備・運用状況(*:要修理)	マルア	170KVA, *100KVA, *60KVA	ンガウンデレ	*170KVA, 100KVA	ヤウンデ	170KVA, *100KVA	エボロワ	*170KVA, 100KVA					
局名	配備・運用状況(*:要修理)																
マルア	170KVA, *100KVA, *60KVA																
ンガウンデレ	*170KVA, 100KVA																
ヤウンデ	170KVA, *100KVA																
エボロワ	*170KVA, 100KVA																

項目	確認事項	回答内容																				
8	スタジオ機材撤去ならびにヤウンデスタジオおよびマルアスタジオの内装工事	<p>基本設計概要書 3 章 (2) 1) ~ 4) に示すスタジオ機材撤去および内装工事の計画は以下のとおりである。</p> <p>局名 運用状況</p> <p>マルア 2 スタジオの内の 1 スタジオは空室であり、空室に新機材の据付工事を行うのでスタジオ工事による放送の中断はない。</p> <p>ンガウンデレ スタジオスペースを新設又は増設する計画であり既設スタジオからの放送を中断することはない。新設・増設いずれの予算も承認されなかった場合は現用スタジオの既設機材を他のスペースに移設し、新機材を据え付ける。機材移動に伴う放送中断はない。</p> <p>ヤウンデ 既設 4 スタジオの内、機材が老朽化した 104 スタジオを改修し新機材を据え付ける。工事期間は他の 3 スタジオから放送するので放送の中断はない。</p> <p>2008 年度予算で必要経費を確保する。 スタジオ機材の撤去は以下のとおり完工する。</p> <p>マルア 2008 年 6 月中旬 ンガウンデレ 2008 年 7 月中旬 ヤウンデ 2008 年 8 月中旬</p>																				
9	ンガウンデレスタジオ新築工事	<p>新設もしくは増設を計画した。予算は 2006 年 12 月の審査で決定する。新設・増設いずれの予算も承認されない場合既設スタジオを継続して使用する。</p>																				
10	調達機材の保管場所	<p>CRTV の各サイトにあるフェンスで囲まれ、十分なスペースを持った資機材置き場を提供する。資機材置き場のゲートは施錠されており、守衛が配置されている。</p>																				
11	放送機材の輸入に係わる税金	<p>CRTV は輸入税免除の申請書を作成し財務省に提出する。申請から輸入許可書の取得までに約 1.5 ヶ月かかる。 なお、申請書に添付する機材リストは到着の 2 ヶ月前にカメルーン側に送られる。</p>																				
12	支払い授權書の発行・変更	<p>CRTV は AP 通知手数料および AP 支払手数料を負担する。</p>																				
13	2007 年度申請予算	<p>2006 年 12 月 15 日に予算計画は完成し、12 月末の審査で承認される。</p>																				
14	JICA カメルーン駐在員事務所への報告	<p>各項目の進捗及び結果について以下のタイミングで JICA カメルーン駐在事務所を通じて報告する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>報告月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2006 年 12 月末</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>2006 年 12 月末、2007 年 3 月末</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2007 年 1 月末</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2007 年 3 月末</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2007 年 12 月末</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>2006 年 12 月末、2008 年 1 月末</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2007 年 12 月末</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2006 年 12 月末</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>2006 年 12 月中旬、2006 年 12 月末</td> </tr> </tbody> </table>	項目	報告月	2	2006 年 12 月末	3	2006 年 12 月末、2007 年 3 月末	4	2007 年 1 月末	5	2007 年 3 月末	6	2007 年 12 月末	7	2006 年 12 月末、2008 年 1 月末	8	2007 年 12 月末	9	2006 年 12 月末	13	2006 年 12 月中旬、2006 年 12 月末
項目	報告月																					
2	2006 年 12 月末																					
3	2006 年 12 月末、2007 年 3 月末																					
4	2007 年 1 月末																					
5	2007 年 3 月末																					
6	2007 年 12 月末																					
7	2006 年 12 月末、2008 年 1 月末																					
8	2007 年 12 月末																					
9	2006 年 12 月末																					
13	2006 年 12 月中旬、2006 年 12 月末																					

## カメルーン側負担経費概算

通信省認可取得	500,000CFA
FM 送信機撤去	10,000,000CFA
FM 送信機付属機器の撤去	5,000,000CFA
送信局舎改修	3,000,000CFA
送信室床修復	140,000CFA
送信室ドア修復	600,000CFA
機器アース確認	100,000CFA
エンジン修理	2,000,000CFA
ヤウンデスタジオ機材撤去	1,250,000CFA
ヤウンデ・マルアスタジオ内装（スタジオ貫通口を含む）	80,000,000CFA
ンガウンデレ新スタジオ建設	500,000,000CFA
A/P 通知費用及び A/P 支払い手数料	4,344,000CFA
合 計	606,934,000CFA

## 保守管理計画

## FM 送信機の点検・保守項目

分類	機器名または部位	点検・保守項目	点検サイクル				
			日	週	月	半年	1年
FM 送信機	電源回路	電圧					
		主電源端子のケーブル接続状況、電磁開閉器の接点状況					
		グラウンド端子					
	冷却回路	風量チェック					
		送風機の異常音、振動					
		エアフィルター汚れ、水洗い					
	制御回路	送信機切替制御（同軸切替器）					
		インターロック点検					
	電力増幅器	表面温度、素手によるチェック					
		放熱フィン清掃					
内部の目視検査、変色など							
同軸回路	フィーダー、エルボ表面温度、フィーダーの接続部分のゆるみ						
励振器	冷却ファンの異常音、振動						
	各モジュールの勘合具合、各モジュール内部目視、変色など						
筐体	内部の清掃						
	内部の部品目視点検						

## FM 送信アンテナおよび鉄塔の点検・保守項目

分類	点検・保守項目	点検サイクル
		1年
取付金具	発錆腐食、変形、亀裂、変質同化、折損、ゆるみ	1年
電力分配器	変形、亀裂、折損、変質同化	1年
分岐ケーブル	亀裂、ゆるみ	1年
主給電線	亀裂、ゆるみ	1年
塔体	建入れ（直交する2方向より鉄柱の垂直度を検査するもの）、ボルト、リベット、塔体、台礎子、頂冠、基礎等の破損、ずれ、取付具合などを2方向以上から望遠鏡などで点検し補修する。	7～8年
支線	支線錨塊、ワイヤー、支線金具（ソケット、クリップ、ターンバックル、シャックルなど）、支線碍子、碍子金具、汚れ、発錆腐食、ゆるみ、破損等について点検し補修する。	7～8年
付属設備	航空障害灯、避雷器、保護柵等の劣化、汚れ、発錆腐食、ゆるみ、破損等について点検し補修する。	7～8年

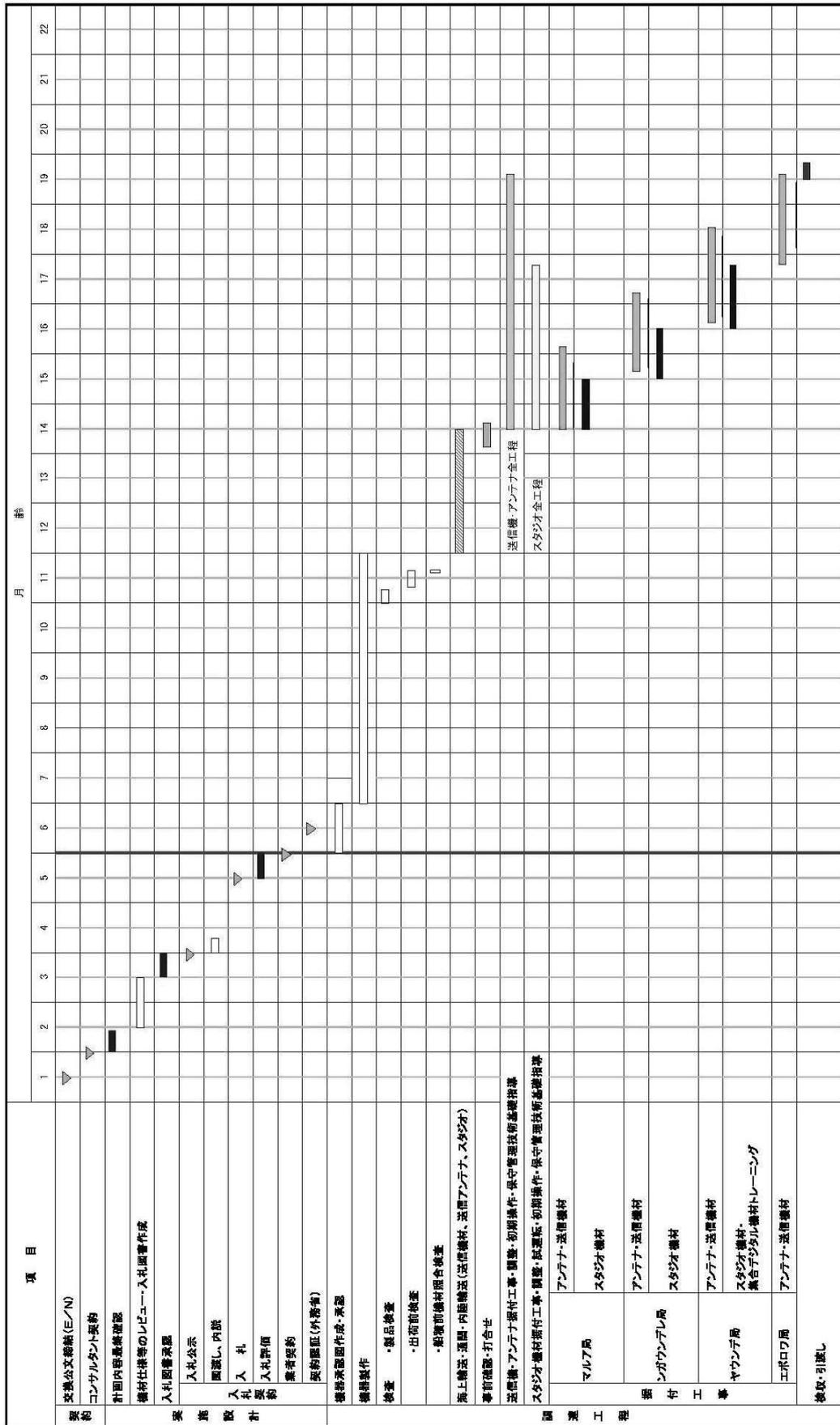
スタジオ機材の点検・保守項目

分類	点検・保守項目	点検サイクル			
		日	月	半年	1年
CDM 装置	音声レベル確認				
	周波数特性測定				
	歪率測定				
	ノイズレベル測定				
	放熱ファンの異常音の有無確認、清掃				
	ラック内清掃				
音声ミキサー	フェーダー動作の確認				
	音声レベル確認				
	周波数特性測定				
	歪率測定				
オーディオレコーダー	音声レベル確認				
CD プレーヤー	音声レベル確認				
カセットテープレコーダー	音声レベル確認				
オーディオワークステーション	音声レベル確認				
	機能確認				
番組送出装置	機能確認				

# 事業実施工程表

別添 5

案件名: カメルーン国ラジオ放送網整備計画



凡例  
 □ 日本国内業者  
 ■ 第三国業者(海上輸送)  
 ▨ アンテナ工事  
 ▩ スタジオ工事  
 □ 送信機工事

## 5. 事前事業計画表（基本設計時）

1. 案件名
カメルーン共和国 ラジオ放送網整備計画
2. 要請の背景（協力の必要性・位置付け）
<p>「カ」国では、1986年の第6次国家開発5ヵ年計画が経済危機により目標の達成に至らず、それ以来一貫した開発計画が存在しなかったが、2003年4月にIMFの勧告を取入れた「貧困削減戦略書（PRSP）」が策定・承認された。PRSPは2000年10月にIMFの重債務削減措置の適用を受け、その構造改革の一過程として導入されたもので、貧困ライン以下での生活を強いられている国民の生活改善および「カ」国経済の持続的な成長の維持を目的としており、2015年を目標達成年とし下記の課題が提起されている。</p> <p>貧困ライン以下で生活し、飢えに苦しむ「カ」国民の人口を半減      普遍的な小学校教育の実現      性の相違から発生する諸問題の排除      幼児死亡率：4.47%（2005年CIA）を2/3に低減      妊婦死亡率を2/3に低減      HIV（AIDS）蔓延の阻止      安全な飲料水を確保できない人口を低減      情報通信技術の開発および普及</p> <p>情報通信技術の開発および普及に関しては、特にラジオ放送の果たすべき役割が強調されている。ラジオ放送は、不特定多数へ迅速かつ効率的に情報を伝達する手段であり、国内の民主化プロセスを促進させ政治的安定を図るためにも、ラジオ放送を全国民が受信できる環境を作ることは不可欠という認識である。</p> <p>「カ」国において唯一全国ラジオ放送を実施しているCRTVは、公共放送事業者として教育、保健・医療、農業分野等のプログラムを提供し国民の民度を高めるために、「カ」国のすみずみまで安定した放送サービスを行えるようサービスエリアの拡充に努めている。1986年にヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルアの4FM送信所が開局し、1992年～1994年には日本の無償資金協力事業によりドゥアラ、バファッサム、バメンダ、ベルトゥア、ガロウアの5FM送信所が開局した。この当時、9送信所によるFM放送サービスは、「カ」国全人口の約70%をカバーしていたが、CRTVの懸命な維持管理努力にもかかわらず、機材の劣化・損傷が激しく、現在のサービスエリアは、全人口の約51%に縮小している。特にヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア局の機材は、設置から20年を超えて運用されており、老朽化が著しく交換部品も入手困難な状況にある。サービスエリア回復のためにこれらに4局に対するFM放送設備の整備を早急に実施する必要があるが、十分な予算が確保できず困難な状況にある。</p>
3. プロジェクト全体計画概要
<p>(1) プロジェクト全体計画の目標（裨益対象の範囲及び規模）          中部州、南部州、アダマウア州、極北部州で安定したFM放送が再開され、51%に縮小しているFM放送の人口サービスエリアが70%に回復する。          裨益対象：中部州、南部州、アダマウア州、極北部州の住民約512万人（2005年）</p> <p>(2) プロジェクト全体計画の成果          ア <u>CRTVヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア放送局のFM放送システムが整備される。</u>          イ CRTVの放送サービス体制が整備される。</p> <p>(3) プロジェクト全体計画の主要活動          ア <u>CRTVヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア放送局のFM放送システムの整備に必要な資機材を調達する。</u>          イ <u>CRTVヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア放送局技術スタッフに対し初期運用指導を実施する。</u>（新規スタッフの採用は必要なし）          ウ 上記施設を使用して放送サービスを実施する。</p> <p>(4) 投入（インプット）          ア <u>日本側：無償資金協力 910百万円</u>          イ <u>カメルーン国側</u>          必要な人員：599名（技術要員）（現状維持）          建設資機材：送信所およびスタジオ建物の改修および新築          運営・維持管理費の確保</p>

(5) 実施体制 実施機関：カメルーンラジオテレビ（CRTV） 主管官庁：通信省および経済・財務省												
4. 無償資金協力案件の内容												
(1) サイト カメルーン国中部州ヤウンデ市、南部州エボロワ市、アダマウア州ンガウンデレ市、極北部州マルア市												
(2) 概要 ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレおよびマルア放送局へ FM 放送システム機材の調達 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 10kWFM 送信機システム : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• FM 送信アンテナシステム : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 番組入力装置 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• UHF 番組伝送装置 : 各 1 式（ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 番組監視装置 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 電力分配盤 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 測定装置 : 各 1 式（ヤウンデ、マルア）</li> <li>• 保守用工具 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• ハルマッタン対策資材 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• スタジオ機材 : 各 1 式（ヤウンデ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• CDM 装置 : 各 1 式（ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 自動電圧調整装置 : 各 1 式（ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 予備品 : 各 1 式（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> </ul>												
(3) 相手国側負担事項 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存 FM 送信機材およびスタジオ機材の撤去（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• 送信所局舎改修（ヤウンデ、エボロワ、ンガウンデレ、マルア）</li> <li>• スタジオ建物改修（ヤウンデ、マルア）</li> <li>• 新スタジオ増築（ンガウンデレ）</li> <li>• UHF 番組伝送用周波数の取得（ンガウンデレ、マルア）</li> </ul>												
(4) 概算事業費 概算事業費 1045 百万円（日本側 910 百万円、カメルーン国側 135 百万円）												
(5) 工期 詳細設計・入札期間を含め約 17.5 ヶ月を予定。												
(6) 貧困、ジェンダー、環境及び社会面の配慮 本プロジェクトは貧困層の多い遠隔地において情報へのアクセスが容易となり保健・衛生、教育、農業、社会・公共福祉などの情報や文化・国際情報の入手が可能となり貧困層の生活環境改善の一助となるものである。												
5. 外部要因リスク 治安状況が悪化しない。												
6. 過去の類似案件からの教訓の活用 特になし												
7. プロジェクト全体計画の事後評価に係る提案												
(1) プロジェクト全体計画の目標達成を示す成果指標												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>年度</th> <th>2006 年</th> <th>2009 年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CRTV の FM 放送人口サービスエリアの拡大</td> <td></td> <td>51%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>CRTV の地方放送番組の増加（ンガウンデレ、マルア）</td> <td></td> <td>0 時間/日</td> <td>19 時間/日</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	年度	2006 年	2009 年	CRTV の FM 放送人口サービスエリアの拡大		51%	70%	CRTV の地方放送番組の増加（ンガウンデレ、マルア）		0 時間/日	19 時間/日
成果指標	年度	2006 年	2009 年									
CRTV の FM 放送人口サービスエリアの拡大		51%	70%									
CRTV の地方放送番組の増加（ンガウンデレ、マルア）		0 時間/日	19 時間/日									
(2) 評価のタイミング 2009 年以降（機材稼動開始後）												

## 6. 収集資料リスト

No.	名 称	形態 図書・ビデオ・ 地図・写真等	州・カ 北 -	発行機関	発行年
1	Cameroon Statistic Yearbook Edition 2004	図書	北 -	Cameroon National Institute of Statistics	2004
2	Plan Strategique de la Cameroon Radio Television (2005-2008)	図書	北 -	Institut Superieur de Management Public	2005
3	Provincial Document				
-1	Document de Presentation de la Direction Regional de CRTV- Littoral	図書	北 -	CRTV Douala	2006
-2	CRTV Station Regional du Littoral Grille des Programmes	図書	北 -	CRTV Douala	2006
-3	Document for North West Provincial Station Bamenda	図書	州カ	CRTV Bamenda	--
-4	Programmes Schedule	図書	州カ	CRTV Bamenda	2006
-5	CRTV Ouest Station Provincial Presentation Sommaire	図書	州カ	CRTV Baffousam	--
-6	Document de Presentation du Fonctionnement des Equipements	図書	北 -	CRTV Baffousam	2006
-7	Couverture Radiophonique et Televisuelle de la Province de l'Extreme-Nord Cameroun	図書	州カ	CRTV Maroua	1997
-8	Presentation Grille des Programmes 2006 CRTV Extreme Nord	図書	州カ	CRTV Maroua	2006
-9	CRTV Station Provinciale du Nord Grille des Programmes	図書	州カ	CRTV Garoua	--
-10	Centre de Diffusion FM TV de Ngaoundere	図書	州カ	CRTV Ngaoundere	--
-11	Grille des Programmes de CRTV-Adamaoua	図書	州カ	CRTV Ngaoundere	2006
-12	CRTV Est Guide des Programmes	図書	北 -	CRTV Bertoua	2006
-13	CRTV Station Regionale du Sud Grille des Programmes	図書	州カ	CRTV Ebolowa	2006
-14	Station des Programmes 2006 Grille des Programmes 2006	図書	北 -	CRTV	2006
4	Repartition par Contenu et par Centre des Productions du Poste National	図書	北 -	CRTV Yaounde	--
5	Programme Guide of the National Station of the CRTV	図書	州カ	CRTV Yaounde	2006
6	RESOLUTION No 00001/CRTV/CA DU 04/07/2005 PORTANT ADOPTION DE L'ORGANIGRAMME DE LA CAMEROON RADIO TELEVISION	図書	北 -	CRTV	2006
7	PRESENTATION DE LA CRTV	図書	北 -	CRTV	--
8	PLAN D'ACTION DE LA CRTV POUR L'ANNEE 2006	図書	北 -	CRTV	2006

No.	名 称	形態 図書・ビデオ・ 地図・写真等	オリジナル 北 -	発行機関	発行年
9	CENTRE DE FORMATION PROFESSIONNELLE DE L'AUDIOVISUEL	図書	北 -	CRTV AUDIOVISUAL TRAINING CENTRE	--
10	SURVEY REPORT OF CRTV TELEVISION AND RADIO INFRASTRUCTURE IN CAMEROON	図書	北 -	CRTV	2006
11	SURVEY REPORT OF CRTV TELEVISION AND RADIO INFRASTRUCTURE IN CAMEROON NEW SITE SECTION ONLY	図書	北 -	CRTV	2006
12	POVERTY REDUCTION STRATEGY PAPER	図書	北 -	International Monetary Fund	2003
13	Progress Report on the Implementation of PRSP	図書	北 -	Ministry of Economic Affairs	2004
14	LES INDICATEURS DU MARCHÉ DU TRAVAIL AU CAMEROUN	図書	オリジナル	Organization Internationale du Travail	--
15	LES STATISTIQUES SUR L'EMPLOI ET LE MARCHÉ DU TRAVAIL AU CAMEROUN	図書	オリジナル	Organisation Internationale du Travail	--
16	BUDGET DES RESSOURCES	図書	北 -	CRTV	2006
17	PLAN STRATEGIQUE DE LA CAMEROON RADIO TELEVISION	図書	北 -	CRTV	2005
18	CAMEROON EN CHIFFRES 2004	図書	オリジナル	Institut National de la statistique	2005
19	Cameroon (MAP)	地図	オリジナル	Freytag & berndt	--
20	AFRICA(MAP)	地図	オリジナル	Collins	1997
21	Map of Yaounde	地図	オリジナル	ECR	2006
22	Map of Cameroon 1/200,000	地図	オリジナル 及び 北 -	Institut Geographique National - Paris	1972